

白石市

人口	3万7876人	高齢化率	27.1%
協定数	8	8割単価	0
		通常単価	8
協定締結面積	955,234 m ²	交付額	17,995,456 円

人口は平成21年10月現在、高齢化率は平成21年3月現在
協定締結面積・交付額は、平成20年度実績を記載

(1)小原大熊集落協定	5
(2)小原塩ノ倉集落協定	6
(3)小原沼田集落協定	7
(4)小原中北集落協定	8
(5)大鷹沢稻荷堂集落協定	9
(6)大鷹沢唐竹集落協定	10
(7)白川犬卒都婆集落協定	11
(8)福岡上原集落協定	12



○非農家との連携や農作業の業託により、地域の農業を守る

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 小原大熊集落協定				
協定面積 5.4ha	田 (100%)	畑 (%)	草地 (%)	採草放牧地 (%)	
	5.4ha	—	—	—	
交付金額 98万円	個人配分			48.0 %	
	共同取組活動 (52.0%)	①役員報償費等			4.1 %
		②会議費・事務費等			5.1 %
		③農地、農道、水路の共同			10.2 %
		④機械購入費			20.4 %
⑤多面的機能の増進に関する活動費			12.2 %		
協定参加	農業者 18人、生産組織2、非農家2				
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の点検		
	水路、農道等の管理活動		水路の清掃(年1回)と草刈り(年2回) 農道の草刈り(年2回)など		
通常単価	多面的機能を増進する活動		景観作物の作付け		
	① 取り組んでいる		2 取り組んでいない		
※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	A要件	○	生産性・収益向上性	①機械・農作業の共同化	
			担い手育成	②高付加価値型農業の実践	
				③地場産農産物の加工・販売	
		○	多面的機能の発揮	①新規就農者の確保	
				②認定農業者の育成	
				③担い手への農地集積	
○	○	④担い手への農作業の委託			
		①保健林休養を活かした都市住民等との交流			
		②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携			
○	○	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携			

2. 特徴的な取組

地区外の2団体に農作業の委託を進めるとともに、農道や水路等の維持管理を、非農家との共同活動で行っている。また、畦塗り機を購入し、法面の補修についても共同利用で行っている。



非農家との共同活動



非農家との共同活動

3. 取組んだ感想や今後の課題等

農作業の委託により農業の継続が可能になり、集落にも意識の向上が図られた。今後も非農家との連携を緊密にするとともに、後継者の育成に力を入れて行くことが大事である。

【平成21年度までの主な成果】

- 担い手への農作業の委託 (目標1.8ha, H21実績2.4ha)
- 非農家との連携 (農業施設の維持管理)
- 畦塗り機での法面の補修 (目標0.15ha, H21実績0.27ha)

○農地の保全を目指した、集落の共同活動と担い手への委託

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 小原塩ノ倉集落協定			
協定面積 15.0ha	田 (97.0%) 14.5ha	畑 (3.0%) 0.5ha	草地 (%) —	採草放牧地 (%) —
交付金額 307万円	個人配分			36.0 %
	共同取組活動 (64.0%)			
	①担当者活動経費			7.8 %
	②農業生産活動等の体制整備に向けた活動等			54.3 %
	③鳥獣害防止対策及び水路、農道等の維持管理費等			
④農用地の維持管理を行う者に対する経費				
⑤その他、会議費、事務費等			2.9 %	
協定参加	農業者32人、生産組織1、非農業者4人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の点検、作業道の設置、排水改良等	
	水路、農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り、農道の簡易補修や草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の下草刈り、堆きゅう肥の施用等	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	①取り組んでいる			2 取り組んでいない
	A要件	○	生産性・収益向上性	①機械・農作業の共同化
			担い手育成	②高付加価値型農業の実践
				③地場産農産物の加工・販売
	多面的機能の発揮	○	①新規就農者の確保	
			②認定農業者の育成	
			③担い手への農地集積	
			④担い手への農作業の委託	
			⑤その他、会議費、事務費等	
	①保健林休養を活かした都市住民等との交流		②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携				

2. 特徴的な取組

生産組織への農作業の委託を進めるとともに、非農家を含めた集落ぐるみでの農道等整備により、環境保全並びに農業生産活動等の体制整備を図る。



非農家との共同活動



農道整備

3. 取組んだ感想や今後の課題等

担い手への作業委託の推進の他、農業施設整備を通じて、非農家との連携が進んだ。高齢化が集落の懸念材料である。次世代を担うリーダーの育成が、今後の活動を行うための、大きな課題となる。

【平成21年度までの主な実績】

- 生産組織への農作業の委託（目標3.1ha、H21実績4.1ha）
- 農道整備（目標155m、H21実績550m）
- 非農家との連携（農業施設の整備）

○生産組織への作業委託で遊休未用地の防止を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 小原沼田集落協定				
協定面積 6.6ha	田 (%)	畑 (%)	草地 (%)	採草放牧地 (%)	
	6.6ha	—	—	—	
交付金額 268万円	個人配分			50.0 %	
	共同取組活動 (50.0%)	①担当者の活動経費			7.2 %
		②活動費・景観作物植栽等			14.5 %
		③鳥獣害防止対策及び共同取組活動に関する経費			21.7 %
		④農用地の維持、管理活動を行う者に対する経費			
⑤交付金の積立・繰越			6.6 %		
協定参加	農業者33人、生産組織1、非農家7				
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の管理		
	水路、農道等の管理活動		水路や農道の草刈りや清掃、補修等		
	多面的機能を増進する活動		景観作物の作付け		
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	① 取り組んでいる			2 取り組んでいない	
	A要件	○	生産性・収益向上性	①機械・農作業の共同化	
			○	担い手育成	②高付加価値型農業の実践
					③地場産農産物の加工・販売
		①新規就農者の確保			
		○	多面的機能の発揮	②認定農業者の育成	
				③担い手への農地集積	
	④担い手への農作業の委託				
	③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携				

2. 特徴的な取組

耕作放棄地の発生を防止するため、非農家を含めた集落全体による共同取組活動により、農地の保全や水路・農道等の安全確保が図られた。また、生産組織への農作業委託も積極的に進めてきた。



景観作物植栽



非農家との共同活動

3. 取組んだ感想や今後の課題等

非農家を含めた集落内の共同活動を行うことにより、集落全体で問題意識の共有化が図られた。今後についてはさらなる生産組織への委託を推進していくとともに、後継者の育成にも力を入れていく。

【平成21年度までの主な実績】

- 農作業の委託（目標4.0ha、H21実績4.5ha）
- 農道整備（目標350m、H21実績400m）
- 非農家との連携（水路、農道の補修）

○地域の中学校との農作業体験を目指した、取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 小原中北集落協定			
協定面積 12.8ha	田 (99.5%) 12.7ha	畑 (0.5%) 0.1ha	草地 (%) —	採草放牧地 (%) —
交付金額 268万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)	①担当者の活動経費		2.5 %
		②農道・水路工事費、機械購入費		38.3 %
		③鳥獣害防止対策及び集落の共同活動に要する経費		4.9 %
		④法面管理費		1.9 %
⑤事務費等			2.4 %	
協定参加	農業者36人、非農業者21人、中学校1			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の点検、作業道の設置や簡易な基盤整備	
	水路、農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り、農道の簡易な補修や草刈り	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り、魚類昆虫類の保護を行う	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	①取り組んでいる		②取り組んでいない	
	A要件	○ 生産性・収益向上性	○	①機械・農作業の共同化
				②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成		③地場産農産物の加工・販売
			①新規就農者の確保	
		②認定農業者の育成		
		③担い手への農地集積		
		④担い手への農作業の委託		
	○ 多面的機能の発揮		①保健林休養を活かした都市住民等との交流	
		○	②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
			③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携	

2. 特徴的な取組

会員間の各種農機と協議会のトラクター等について、共同利用を行ってきた。

また、学校教育との連携においては、農業体験を行うとともに、環境保全のためホテルの生息状況を調査・観察を実施してきた。



学校教育との連携



畦塗り機の共同利用

3. 取組んだ感想や今後の課題等

農機の共同利用等で農業の継続が可能となった。また、地域住民が将来の農業や環境向上に対する問題意識を共有できるようになってきている。今後の活動の継続については、共通意識の向上と集落の活動を引っ張っていく、リーダーの育成が必要である。

【平成21年度までの実績】

- 農作業機械の共同利用（目標1.3ha、H21実績1.6ha）
- 生産組織への農作業委託（目標2.0ha、H21実績3.2ha）
- 学校教育等との連携（農業体験学習、ホテルの観察）

○他集落との農機の共同化で、生産活動の継続を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 大鷹沢稲荷堂集落協定			
協定面積 2.2ha	田 (100%)	畑 (%)	草地 (%)	採草放牧地 (%)
	2.2ha	—	—	—
交付金額 22万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)	①担当者の活動経費		12.4 %
		②機械利用経費 (修繕費含む)		6.9 %
		③鳥獣害防止対策及び共同取組活動に対する経費		16.6 %
		④農用地の維持管理活動を行う者に対する経費		12.5 %
		⑤諸雑費経費	1.6 %	
協定参加	農業者9人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の点検	
	水路、農道等の管理活動		水路の清掃や草刈り、降雨後の見回り、農道の草刈り等	
	多面的機能を増進する活動		周辺林地の草刈り	
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	① 取り組んでいる		2 取り組んでいない	
	A要件	○ 生産性・収益向上性	○	①機械・農作業の共同化
				②高付加価値型農業の実践
		○ 担い手育成		③地場産農産物の加工・販売
			①新規就農者の確保	
○ 多面的機能の発揮		②認定農業者の育成		
		③担い手への農地集積		
		④担い手への農作業の委託		
		○	①保健林休養を活かした都市住民等との交流	
			②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	
			○ ③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携	

2. 特徴的な取組

農作業の委託を進めるとともに、隣接の他集落との農機の共同利用を図り、個別対応から共同作業に取り組んだ。



水路土砂上げ



周辺林地の下草刈り

3. 取組んだ感想や今後の課題等

高齢化が進む中、個別対応から共同化を図り、一定の成果を上げることができた。今後、活動の継続については、集落内の相互理解と若い後継者の育成を図りながら、対応していきたい。

【平成21年度までの実績】

- 隣接他集落との農機の共同利用 (目標1.0ha、H21実績1.4ha)
- 農作業の共同化 (目標0.8ha、H21実績1.4ha)

○ 景観保全活動を目指した、集落の取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 大鷹沢唐竹集落協定			
協定面積 5.3ha	田 (100%) 5.3ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -
交付金額 111万円	個人配分			50.0 %
	共同取組活動 (50.0%)	①担当者の活動経費		6.8 %
		②農業生産活動等の体制整備の活動等の経費		16.1 %
		③鳥獣害防止対策及び共同取組活動に要する経費		
		④農用地の維持管理活動を行う者に対する経費		
⑤積立・繰越 (H21年度以降は、事業費として使			27.1 %	
協定参加	農業者9人			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動		農地法面の点検	
	水路、農道等の管理活動		水路の泥上げや除草作業、農道の側溝清掃作業と除草作業	
通常単価	多面的機能を増進する活動		景観作物の作付け	
	① 取り組んでいる		2 取り組んでいない	
※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	A要件	○ 生産性・収益向上性	○ ①機械・農作業の共同化	
			○ ②高付加価値型農業の実践	
		○ 担い手育成	○ ③地場産農産物の加工・販売	
			○ ①新規就農者の確保	
		○ 多面的機能の発揮	○ ②認定農業者の育成	
			○ ③担い手への農地集積	
○ ④担い手への農作業の委託				
		○ ①保健林休養を活かした都市住民等との交流		
		○ ②自然生態系の保全に関する学校教育等との連携		
		○ ③多面的機能の持続的発揮に向けた非農家他集落等との連携		

2. 特徴的な取組

隣接の他集落との農機の共同利用を行うとともに、農作業の委託を進めてきた。また、景観作物の植栽による環境美化を図った。



側溝土砂上げ



景観植物の植栽

3. 取組んだ感想や今後の課題等

高齢化が進む中、共同作業により集落助け合い体制の確立が図られた。今後活動の継続については、他集落との意識の共有化を図りながら、積極的に進めていきたい。

【平成21年度までの実績】

- 景観作物の植栽 (目標0.1ha、H21実績0.15ha)
- 農業機械の共同化 (目標1.0ha、H21実績1.3ha)

○ライスセンター設置による集落営農の活性化を目指した活動

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 白川犬卒都婆集落協定				
協定面積 34.2ha	田 (100%)	畑 (%)	草地 (%)	採草放牧地 (%)	
	34.2ha	—	—	—	
交付金額 586万円	個人配分			40.0 %	
	共同取組活動 (60.0%)	①担当者の活動経費			12.5 %
		②農業生産活動等の体制整備に向けた活動経費等			36.7 %
		③鳥獣害防止対策及び共同取組活動に要する経費			10.3 %
		④農用地の維持管理を行う者に対する経費			
⑤事務費等			0.5 %		
協定参加	農業者56人				
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	農地法面の点検, 作業道の設置や簡易な基盤整備			
	水路, 農道等の管理活動	水路の清掃や草刈り, 降雨後の見回り, 農道の草刈り等			
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り, 魚類・昆虫類の保護			
通常単価 ※通常単価で交付金が交付されている場合, 右の表に, 取り組んでいる要件が, 記入されています。	①取り組んでいる		②取り組んでいない		
	B要件	○集落を基礎とした営農組織の育成 担い手集積化			

2. 特徴的な取組

農機の購入とともに、ライスセンターを設置し農作業の共同化を進めてきた。また、集落内で朝市を催している。



ライスセンターでの粳すり



コンバインでの刈り取り



朝市風景



水路の補修

3. 取組んだ感想や今後の課題等

農作業の受委託及び共同作業を進めることにより、将来についての目標も見えてきた。今後については、集落での更なる意識の向上と後継者及びリーダーの育成を行い、よりよい活動を目指していく。

- | |
|---|
| <p>【平成21年度までの主な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農作業の受委託 (目標15ha、H21実績24ha) ○ライスセンターの設置 ○朝市の立ち上げ |
|---|

○担い手組織へ農地を集積しコスト縮減を目指した取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	宮城県白石市 福岡上原集落協定			
協定面積 14.0ha	田 (100%) 14.0ha	畑 (%) -	草地 (%) -	採草放牧地 (%) -
交付金額 270万円	個人配分			49.0 %
	共同取組活動 (51.0%)			
	①担当者の活動経費			2.5 %
	②農業生産活動等の体制整備の活動等の経費			5.5 %
	③鳥獣害防止対策及び共同取組活動に要する経費			17.7 %
④交付金の積立・繰越 (共同利用機械購入)			27.7 %	
⑤事務費等			0.6 %	
協定参加	農業者20人、生産組織1、非農家3			
8割単価 (必須要件)	耕作放棄地防止の活動	農地法面の点検, 作業道の設置, 簡易な基盤整備		
	水路, 農道等の管理活動	水路の泥上げや除草作業, 農道の草刈りと補修		
	多面的機能を増進する活動	周辺林地の草刈り, 景観作物の作付け		
通常単価	① 取り組んでいる		② 取り組んでいない	
※通常単価で交付金が交付されている場合、右の表に、取り組んでいる要件が、記入されています。	B要件	集落を基礎とした営農組織の育成		
		○ 担い手集積化		

2. 特徴的な取組

生産組織を担い手と位置づけ、農作業を委託し各個人のコスト削減を図るとともに、景観作物の植栽による環境美化を図った。



景観植物の植栽



水路樹土砂上げ



農機の共同利用



共同草刈り

3. 取組んだ感想や今後の課題等

農作業の委託等により、農業の継続が可能となってきた。また、環境美化を図ることにより、環境についての意識の向上が図られてきている。今後の活動については集落内での将来の方向及び後継者、または、リーダーの育成が課題となる。

<p>【平成21年度までの主な実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産組織への農作業受委託 (目標4.3ha、H21実績5.5ha) ○地区内にプランターを設置し景観整備を図る (目標42個、H21実績45個) ○水路の改修 (目標100m、H21実績250m)
--